

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	ソウゴウニンゲンガク I	(フリガナ)	セオ タカシ
授業科目名	総合人間学 I	担当教員名	瀬尾 尚史
英文授業科目名	Anthropology I		
基準年次(開講期)	1年(前期) *3・4年生は履修不可	履修形態	選択
曜日/ 時限/ 講義室	金 3 限 / 浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	サイレント映画、モンタージュ、リメイク、チャップリン、小津安二郎		
授業概要・目的	この授業では、幾つかの映画作品を通じて、人間のさまざまなあり方を考えるとともに、映画を総合的に理解するための多様なアプローチを理解していく。それを通して、次の二点を習得することを目的としている。①映画作品で描かれているさまざまな人生モデルに接することで、各自のライフデザインの手がかりを得る。②授業で鑑賞した映画作品についてのレポート作成を通じて、芸術作品の素晴らしさを説得力のある言葉で表現できるようになる。		
到達度評価の評価項目	映画を形作っている様々な技法(モンタージュ、カメラワーク、照明など)を理解している。 実際の映画の場面に基づいて、自らの言葉で映画作品を分析し、その長を他人に伝えることができる。		
授業計画			
第1回	イントロダクション 授業の進め方の説明と、映画についての受講者へのアンケート。		
第2回	映画技法を理解する 映画の最小単位としてのショットの分類と、モンタージュや長回しについて。		
第3回	サイレント映画を観る① 台詞の無い映画作品を観ることで、映像のみで物語を語る手法を理解する。		
第4回	サイレント映画を観る② 三大喜劇王(チャップリン、キートン、ロイド)の作品を通して、サイレント映画の完成形を理解する。		
第5回	サイレント映画を観る③ チャップリンの作品を見て、映画作品についてのレポートを書いてみる。		
第6回	映画のレポートについて 単なるストーリーの紹介や感想文とは異なるレポートの書き方を学ぶ。		
第7回	『生まれてはみたけれど』を観る① 小津安二郎のサイレント期の傑作を鑑賞する。		
第8回	『生まれてはみたけれど』を観る② 小津安二郎のサイレント期の傑作を鑑賞し、レポートを作成する。		
第9回	『東京物語』を観る① 小津安二郎の日本映画を代表する傑作を鑑賞する。		
第10回	『東京物語』を観る② 小津安二郎の日本映画を代表する傑作を鑑賞し、レポートを作成する。		
第11回	『東京物語』を観る③ 『東京物語』の持つ様々な長を理解する。		
第12回	『東京家族』を観る① 山田洋次による『東京物語』をリメイクした作品を鑑賞する。		
第13回	『東京家族』を観る② 山田洋次による『東京物語』をリメイクした作品を鑑賞し、レポートを作成する。		
第14回	『東京家族』を観る③ 『東京物語』との比較を通じて、映画におけるリメイクについて理解をする。		
第15回	まとめ 映画における古典性と現代性について。		
教科書・参考書等	貴田庄『小津安二郎と「東京物語」』(ちくま文庫)		
授業で使用する機器等	毎回、映画作品を鑑賞する。		
予習・復習へのアドバイス	授業で取り上げた映画作品について調べておく。		
履修上の注意・受講条件等			
成績評価の基準等	レポート課題(80%)と授業に取り組む姿勢(20%)によって評価をする。		
メッセージ	言うまでもないことですが、授業中の私語、スマホの使用、遅刻は厳禁です。		
オフィスアワー	質問等は、授業の後に対応します。		
その他			